

2014年2月14日

各 位

会 社 名 朝日インテック株式会社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 宮 田 昌 彦  
( 東 証 第 二 部 ・ 名 証 第 二 部 コード番号 : 7747 )  
問 合 せ 先 経 営 戦 略 室 長 伊 藤 瑞 穂  
( TEL. 052-768-1211 )

## 2014年6月期第2四半期累計期間業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2013年11月14日に公表いたしました2014年6月期第2四半期累計期間業績予想と実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績の差異 (2013年7月1日～2013年12月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1株当たり 四半期純利益 (円)
前 回 発 表 予 想 (A)	12,527	2,472	2,454	2,040	63.98
今 回 実 績 (B)	13,170	3,136	3,266	2,470	77.51
増 減 額 (B-A)	+642	+664	+811	+429	+13.53
増 減 率 (%)	+5.1	+26.9	+33.1	+21.0	-
(ご参考) 前期実績(2013年6月期中間)	9,618	2,226	2,459	1,784	58.75

(金額の単位：百万円)

#### 2. 第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績の差異の内容などについて

<第2四半期累計期間の業績予想値と実績の差異内容について>

売上高については、主力のメディカル事業において、国内・海外共に想定以上に当社製品の需要が高まったことに加え、米欧通貨高なども後押しとなり、大変好調に推移し、業績予想値と実績に差異が生じました。需要の高まりは、主力製品のPTCAガイドワイヤーのみならず、貫通カテーテル(循環器系)やペリフェラルガイドワイヤー(末梢血管系)などにも及び、順調に推移しております。

売上総利益は、好調な売上高に比例し、予想値を上回りました。

営業利益は、好調な売上高に比例したことや、販売費及び一般管理費の発生が第3四半期会計期間以降へ遅延したことなどにより、予想値を上回りました。

経常利益は、欧米通貨高の進行による為替差益の増加により、予想値を上回りました。

このような状況から、第2四半期連結累計期間につきましては、売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益について業績予想値と実績値に差異が生じました。

<通期の業績予想について>

第2四半期累計期間の業績は当初予想に比べて好調に推移いたしました。通期の業績予想につきましては現在の予想数値を据置いております。

現時点において、業績は順調に推移しておりますが、販売費及び一般管理費について、当初予定されたタイミングよりも発生が遅延する傾向にあるものの当期中には発生が見込まれること、2014年4月に予定されている医療償還価格の引き下げについての具体的指針が未だ決定されていないこと、本日2014年2月14日に発表させて頂きました「日本市場におけるペリフェラルガイドワイヤーなどの直接販売開始に関するお知らせ」に記載の通り、2014年6月30日からペリフェラルガイドワイヤーなどの製品を直接販売へ切替することを新たに決定し、この切替えに伴う病院在庫の買取(返品)が一時的に発生することなどが新たに見込まれることを複合的に考慮し、2013年11月14日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

※業績予想に関する留意事項

上記の予想値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報および合理的な仮定に基づいた推測を前提としております。従いまして、実際の業績は様々な要因により本資料に記載されたものと大きく異なる結果となる可能性があることにご留意ください。

以上